

ある作家がぼそっという一誤差や、無駄や、間違いを含んで世界は流れていきますと。ここでポイントなのが「含んで」という言葉だろう。増加、減少、質の多様性という変化、変質を内包する言葉である。この寛容な言葉に寄りかかり5日間のダンスルーをしようと思う。加わる七人の異なる身体言語を説き明かし、自然は実に浅く埋葬することの胚芽を生み出していきたい。  
深谷正子

# 自然は実に浅く埋葬する

## こぶしを突き出すためのダンスリレー5日間

深谷正子作・演出、4つのソロと2つのデュオによるダンスリレー5日間である。「自然は実に浅く埋葬する」をキーワードとして、人の作る場がいかに変容し、土からむっくり起き上がるエネルギーを生み出せるかというダンスをつないでいく。深谷正子が紙に描くエスキースとともに開示していく。

深谷正子ダンス エスキース

# DANSE ESQUISSE

2014年5月9日(金)~13日(火) ストライプハウスギャラリー

●料金：2000円 ●通し：5000円

### パフォーマンス

5月9日(金) 玉内集子 19時30分~

10日(土) 縫部憲二 19時30分~

11日(日) 奥田純子 18時00分~

12日(月) 長谷川六・岡田隆明 / UIUI (友井川由衣・曾我類子) 19時30分~

13日(火) 佐藤ベチカ 19時30分~

●作・演出：深谷正子 ●照明：玉内公一 ●衣裳協力：田口敏子 ●写真：阿波根 治 (株)スタッフテス ●ビデオ：坂田洋一 ●フライヤーデザイン：沼田皓二  
●主催：深谷正子 ダンスの犬 ALL IS FULL ●企画：長谷川六 ●協力：ストライプハウスギャラリー





### 深谷正子

1976年より「動体証明シリーズ」開始。ソロの活動と共に深谷正子ダンスカンパニーとして多くの作品を発表。「軋み」、「陰謀のように打った寝返りを」、「叫びの森」、「PHASE1~4」、「根・NE」、「パーマメントフェイス」、「三拍子の鴉」、「残」、「骨」、「どうしてもすれ違ってしまうこと1~3」。2000年よりカンパニーの名称を、ダンスの犬 ALL IS FULL と改める。「よるのそくど」、「動体証明・沸点」、「さけていく月・2」、「SO WHAT フタをする」、「SO WHAT 螺旋」、「アリス夏至」、「アリス深呼吸」、「アリス SCRATCH」、「この世に生まれた日の朝が見える」、「スパゲッティ」。現在キテン(KITEN)にて、GUUシリーズコレクションを佐藤ベチカと共に月一パフォーマンスを継続中。



### 玉内集子

P'lushとして96年より作品を発表。その後ソロ活動を始める。「adjustment」、「嘘がついてまわる」、「この部屋にゴミ箱がない」など。「裂けてゆく月 #2~4」(ダンスの犬 ALL IS FULL)、千野秀一 × 玉内集子(美学校ギグメンタ)、笠井毅振付「冬の旅」、ダンスがみたい!「新人シリーズ5」にて新人賞受賞。踊りに行け! vol.7、8、踊りに行け! in アジア 2009 参加、ダンスの犬 ALL IS FULL の作品の多数参加。

自分の皮膚を境界に内外の意識のズレにずっと戸惑っていた。多分この感覚は子供の頃からの人見知りと同じでずーっと私が抱えていたことに通じるのだと思う。最近踊るにつれ皮膚の境界が緩み空気が出入りして私のカラダの隙間に入った。次の扉が見当たりそうだ。まだ開けられないけど、ココロはウキウキしている。2014年8月21日ダンスが見たい!にてソロ作品発表予定。



### 奥田純子

2001年よりパリ、ソウル、東京にてソロ作品を発表。空間立ち上げ系ダンサーと称して、美術館、ギャラリー、バー、野外などで、ユニークな企画を数多く行っている。また独自のエクササイズがボディケア雑誌「Bpdy+」に紹介され、身体の可能性を広げるインストラクターとしても活躍中。2012年より深谷正子作品に参加している。[www.junkookuda.com](http://www.junkookuda.com)

### 縫部憲二

1680年原田仲雄(青龍會主宰)と会って踊り始める。1983年「イントロン」で始動した。2013年9月、「ランゲルハンス島」2013年10月、「エミール」(舞踏青龍會「肉体の四季」第一楽)2013年12月、「よるのそくど VOL.2」(深谷正子作、演出)参加。

身体とも言い、肉体とも言う、自分とも言い、意識とも言う。骨を踊る。骨が踊る。



### 曾我類子

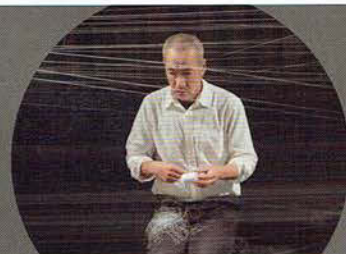
P'lushメンバーとして活動。友井川由衣とのダンスデュオ「UIUI」としてダンスが見たい新人シリーズに挑戦。昨年よりダンスの犬 ALL IS FULL 作品に参加。踊ること、作ること、表現すること、まだ繋がらない。今はそれなりに自分の身体を模索し始めたところ。子供の頃から当たり前であった踊るということ、少し考え始めた。



### 友井川由衣

曾我類子とのデュオ「UIUI」として、ダンスが見たい新人シリーズに二度挑戦。作品作りの大変さを体で感じ、同時に踊る事の楽しさを改めて実感。P'lushとして踊りにいけ!アジアツアーに参加。ここ数年、ダンスの犬 ALL IS FULL 作品に参加。

表現するという事がなんなのか、を考えながら日々奮闘中。モットーは、楽しむ事。らしさを武器に、これからも邁進して参ります。



### 長谷川六

朝日ジャーナル、アエラ、毎日新聞などにダンス批評寄稿、NHK、BSエンターテインメントニュースのコメンテーターをへて、現在ダンスワーク編集長。写真:「透明を射る矢4」撮影:坂田洋一



### 岡田隆明

1990 ころから踊り始める。シリーズ「動くものと動かないもの」16回にて破綻終了(東京パピロン2003年)。破綻処理としてのシリーズ「二重の外出」を続行中。最新作は二重の外出 17 影について知っておくべき二、三のことら(美学校2014.4.22)。他に、深谷正子ダンスの犬 ALL IS FULL 作品参加、浦辺雅祥とのデュオ等々。

未来は冥い。結局のところ踊るしかないらしい。天上の神々を動かさずしりば冥界を動かさむ。ウェルギリウス/Aエネイス



### 佐藤ベチカ

愛媛県生まれ。16才より踊る。田舎でバレエを始め、上京して、ジャズ、ソシアル、ショーダンスなど。1995年より、ソロ活動開始。近々では、「ダンスの犬 ALL IS FULL」作品に出演。また昨年6月より、東陽町アートスペース「kiten」にて、深谷正子さんと「GUU-偶-シリーズ」を月イチで展開、Vol.1~8と試作を重ねる。神田にて毎木曜夜、「ベチカのやさしいヨーガ」クラスを開講。<http://s.ameblo.jp/po-orn-am> 家族も含め、近頃、知己に心配な知らせが多い。幾つかの出来事が重なった時。出来事は身辺に起こっているのではない、只中に自分が居る、と知る。「手放すな!手を伸ばせ!しっかりと、触れていよ!」サクサクと音がする。潮と月がジンジンと引き合う。にわかに、起こっている全ての出来事が、愛しく思われた。祈よ。横広がり空に果てなく響け。

### ダンスの犬 ALL IS FULL

〒274-0805 千葉県船橋市二和東 6-2-33  
問い合わせ: 090-1661-8045 (深谷)  
[info@fukaya-masako.com](mailto:info@fukaya-masako.com)

### ストライプハウスギャラリー

〒106-0032 東京都港区六本木 5-10-33-3F  
Tel:03-3405-8108 Fax:03-3403-6354  
E-mail:[info@striped-house.com](mailto:info@striped-house.com)

